

皆様から大反響いただいております「匠」第5弾!!!
普段なかなか聞くことのできない生活の知恵をその分野の
プロフェッショナル「匠」に紹介してもらいました。
今回のテーマは「**住まいの味方**」となっています。是非読んで
試してみてください。

打ち水

打ち水とは水が蒸発する時に、一緒に地熱を奪い周囲の温度が下がることで涼しく感じられる効果です。庭先や玄関先に打ち水をすると、窓から入る風が一段と涼しくなります。ただし、日中の最高気温に達しそうな時間帯に打ち水をして、水はすぐ蒸発してしまい、あまり効果はありません。まだ気温の上がり始める前の朝や、太陽の傾きかけた夕方などに打ち水をするのがより効果的と言われています。

ぜひ打ち水をしてみてはいかがでしょうか。



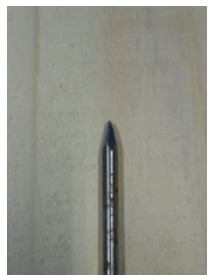
梅村 基裕【梅村設備】

日曜大工

日曜大工等で材料に釘を打つ時材料が割れた事はありませんか？今回、ご紹介するのは材料が割れにくくする方法です。

やり方は簡単です。釘の先端(とがった方)を金槌で少し強めに叩いてつぶすだけです。あとは普通に釘を打てばいいです。叩いて割れない訳ではなく、割れにくくするだけなので、どうしても割れると困る場合は木工用ドリルで下穴をあけて下さい。

① 叩く前



② 叩いた後



度会 正夫【度会建築】

玄翁（げんのう）

釘を打ち込んだり、材料の組立てに使ったり、ノミを叩く時に使ったりと日曜大工でも使用頻度の高い大工道具ですが、釘を綺麗に打つには少しコツがあります。玄翁の打撃面は二種類あります。片方は平らな面で、もう片方はごくわずかなふくらみがあります。

釘を打ち込むときは、平らな面で打ち、最後の締め打ちの時は曲面の方で打ちます。そうすると木に打撃跡を残さず、綺麗に釘を打ち込むことができます。



藤井 俊輔【藤井建設工業所】

古民家再生

よく全部壊して、建て直した方がいいのでは？そんな事をよく言われます。確かに新築の方が大工の立場から言えば楽です。ですが、古民家再生をするメリットが大きいので少し紹介します。

まず、今の建物を解体し、さら地にした時点で土地の固定資産税が高くなります。次に新築するにあたり確認申請等、各種の申請手続きによる経費が発生します。完成した後は建物の固定資産税がぐんと高くなります。古民家再生にはその諸々が発生しません。

『思い出の詰まった大切な家を後世に残す!!』そんな家の修理の仕方があっていいのではないのでしょうか？



秋山 豪【㈲秋山建設】

恵南地区の学校紹介

恵南地区にある学校の取り組み、活動等、詳しく知っていただければ幸いです。
我々青年部も、色々な事業でボランティア協力などして頂き、お世話になっています。

岐阜県立恵那南高等学校



明智鉄道イベント時の演奏



おんさい祭りの演奏風景



学校科目での発表風景

恵那南高校は、平成19年度に総合学科としてスタートしました。来年度で10周年を迎えます。

文系進学、理系進学、ビジネス、情報、福祉保育の5つの系列を設定し、将来の自分の姿を描きつつ、大学進学や就職をしています。恵南に一つの高等学校としての存在ですが、少子化に伴って、本校への希望者が減少しています。学校として、地域の役に立てる人材育成をしています。まだまだ認識されていないのが現状です。

土岐商業高校、恵那農業高校、中津川工業高校、中津商業高校、瑞浪高校、恵那高校、中京高校、麗澤瑞浪高校と様々な高校選択をできる時代ですが、大学進学・部活動・資格取得、就職に限らず、本校の進路実績は優るとも劣りません。「総合学科は、中途半端」という声を聴くことがあります。専門高校と比べ、専門性を追求するのが2年次からスタートするためですが、日商簿記検定2級、ITパスポート取得、国立大学入学などの実績からすれば遜色ありません。明智商業高校や岩村高校のイメージが長く続いているようですが、そんなことはありません。知、徳、体のバランスのとれた人材育成を目指して日々、努力しています。

恵那南高校では、キャリア教育を中心に学習しています。基礎学力の徹底を図り、少人数で授業をしています。「恵那南高校の総合学科では、自分とは何者で、これからどうしたいのか、自分を見つめなおし、これから向かう道のりをしっかり考えます。そして、進学するのか、就職するのか、そのために何が必要なのかを5系列で学びます。」また、部活動やボランティア活動を通して思いやりの心を養います。この恵南の地で自分の磨きを通して、地域を支える人材を育てていく必要があります。そのための高等学校であると自負しています。



おんさい祭りでボランティア活動



地域のボランティア活動



授業でのグループ活動

岐阜県立恵那特別支援学校

『児童生徒一人一人の輝きを求めて』、恵那特別支援学校は平成22年、岩村に移転されました。

現在、約150人の生徒が、元気に学習しています。



感謝の気持ちを込めて車両清掃

恵那特別支援学校では、明知鉄道を毎日通学で利用したり、校外学習等で利用したりしています。

高等部3年生は、12月10日(木)に3年間の感謝の気持ちを込めて、明智駅で約1時間、車内清掃と車両の外側のモップ掛け、駅舎やホームの清掃活動を行いました。

生徒代表は「3年間ありがとうございました。高校生生活も残り僅かですが、マナーよくきれいに利用します。」と挨拶をしました。

11月14日(土)、明智文化センターで行われた明知鉄道30周年記念式典に、高等部MSリーダーズの代表生徒が参加しました。

当校が6年前に岩村町に移転してから、毎年行ってきた岩村駅並びに車両の清掃活動に対して、感謝状を贈呈していただきました。



明知鉄道開業30周年記念式典
明知鉄道 30周年記念式典参加